平成 29 年 10 月 13 日

土木学会 舗装工学委員会

「寒冷地舗装小委員会」委員の募集

1. 活動経過と継続活動の目的

積雪寒冷地域における舗装では、低温、凍上、路面凍結といった特有の課題が存在し、それらの課題に対する技術が個別の機関ごとに蓄積されてきましたが、従前は寒冷地の舗装技術に関して体系的に一覧できる状態になっていませんでした。

そこで舗装工学委員会では、平成 19 年度に「寒冷地舗装小委員会」を設立し、平成 22 年度までの 4 ヶ年にわたり、寒冷地舗装技術を体系化した書籍として平成 22 年度末に「舗装工学ライブラリー6 積雪寒冷地の舗装」を出版しました。さらに、平成 23 年度から平成 28 年度にかけては第二期目の活動を行い、コンクリート舗装も含めた寒冷地舗装全般に関する技術の体系化をさらに推進するとともに、現場技術者向けに寒冷地舗装に発生する諸問題に対する具体的な対策事例や補修技術に関する情報をまとめ、「舗装工学ライブラリー15 積雪寒冷地の舗装に関する諸問題と対策」を出版しました。これら二期に亘る活動によって、寒冷地の舗装技術の体系化という、寒冷地舗装小委員会設立時の目的の主要部分は達成されたと判断しています。

振り返ると、これまでの活動は、専門研究者の間で確立した技術に関する既存情報を体系的に整理し、普及を図ることに注力していました。そのため、現在日本や世界各地の最前線で実施されている最先端ないし先駆的な寒冷地舗装技術についての取組は控えていました。舗装工学委員会の役割である舗装技術の推進のためには、既存知識の整理体系化によって技術の共有と普及を図ることはもちろんですが、最先端の研究の情報を収集整理し、先駆的な技術の実験研究を進め、将来的に有望な舗装技術を先導していく活動もまた重要であり、今後の寒冷地舗装小委員会の活動は後者の取組にシフトしていく段階にあると考えます。

そこで、寒冷地舗装小委員会の活動を第三期目として発展的に継続し、積雪寒冷地の舗装に関する課題について広範な情報交換や議論を行いつつ、情報の収集整理と実験研究を行い、将来的に有望な寒冷地舗装技術を先導していくことを目的とした活動を行うものです。

2. 活動内容(案)

小委員会を年に数回程度の割合で開催します。本委員会における活動内容は以下の通りです。

- ・寒冷地舗装の設計・供用性・損傷・補修に関する今までの研究・技術・経験の整理。

- ・世界各地の積雪寒冷地の舗装に関する先進的な取組情報を収集し、最新情報を共有.
- ・先駆的な積雪寒冷地舗装技術の実験研究を行い、日本の寒冷地舗装技術を先導.

本委員会の活動により、以下のような成果が期待できます。

- ・積雪寒冷地舗装に関する広範な情報の共有と若手技術者への教育、技術伝承.
- ・先駆的な積雪寒冷地舗装技術の推進に向けた学術データ取得.
- ・積雪寒冷地舗装に関する先駆的な取組に関する冊子の発刊、普及.

3. 活動予定期間

4年間

4. 成果の公表

本小委員会の活動により得られた成果を出版およびホームページ等で公表します。

5. 委員構成

委員長候補：亀山 修一(北海道科学大学)

幹事候補：丸山 記美雄(寒地土木研究所)

委員候補：公募

6. 応募方法

本小委員会への参加をご希望の方は、以下の事項を記載の上、12月20日(水)までに下記申込先までメールにてお申込み下さい。

(1)記載事項

- ・氏名，ふりがな
- ・所属機関名，部署名，役職
- ・所属機関所在地
- ・電話番号
- ・メールアドレス
- ・土木学会から委員就任委嘱状の必要の有無

(2)申込先，問い合わせ先

寒地土木研究所

丸山 記美雄

TEL：011-841-1747

E-mail：k.maruyama@ceri.go.jp